

さいたま市

健康科学ニュース



【創刊のごあいさつ】

さいたま市健康科学研究センターは平成19年（2007年）に開所し、今年度で18年目となりました。当センターではこれまでの間、公衆衛生・環境衛生を専門とする職員を中心に、さいたま市民の健康を守るための試験検査や調査研究の技術を磨き、市域の科学的・技術的な中核拠点として、様々な健康危機事案に対応してまいりました。

このたび創刊したこの健康科学ニュースでは、これまでの当センターでの取り組みをもとに、皆さまの生活にも役立つ情報をお届けしてまいりたいと存じます。

今後ともご一読いただけたら幸いです。

センター所長

健康科学研究センターについて



当センターは、試験検査・調査研究・情報発信・人材育成という4つの業務を柱として市政を支える科学的・技術的機関です。

「保健科学課」、「生活科学課」および「環境科学課」の3課で、感染症や食の安全、環境汚染など公衆衛生上の課題に向き合い、市民の皆さまが安心して暮らすことができるよう健康危機管理に日々取り組んでいます。

試験検査について

感染症や食中毒などの原因を調べる検査、新生児の血液の検査、食品・飲料水・家庭用品・プール水などの法令に基づく検査、大気水質の環境保全にかかわる検査を行っています。これらの検査は、皆さまの健康被害を未然に防いだり、万が一健康被害が発生したときの原因究明や被害の拡大を最小限に抑えることにつながります。



調査研究について

市民の健康を守る！

健康科学研究センターの調査研究

○なぜ調査研究が必要なの？

感染症や食中毒、空気や水の環境汚染など、私たちのまわりにはさまざまな健康リスクが潜んでいます。

当センターは、これらの健康リスクをいち早く把握し対策を講じることができるように、日ごろから検査手法をはじめとする様々な調査研究に取り組んでいます。

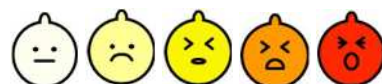
調査研究の成果は、皆さまへの情報発信や職員の研修指導に活かされたり、試験検査の改善につながります。

○どんな調査研究をしているの？

「さいたま市内で流行したRSウイルスのG蛋白全領域遺伝子の解析」

「食中毒発症者の便及び鶏肉より分離した *Campylobacter jejuni* の
ギランバレー症候群関連遺伝子保有状況」

「さいたま市におけるVOCの毎時測定データを用いた平日と週末の
違いについて」 など

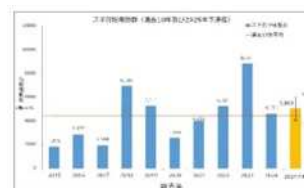


スギ花粉飛散数の予測、

はじめました！

このたび当センターでは、過去のスギ花粉飛散量とスギの生育状況のデータを分析し、作成した予測モデルによりスギ花粉飛散数を予測することが可能となりました。

予測結果は、ウェブサイトで公開していますので、ぜひご活用ください。



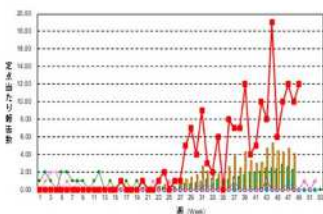


センター各課の主要な業務

保健科学課

健康にかかわる検査や情報発信をしています！

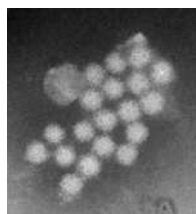
感染症情報の発信



感染症情報センター
(市ホームページ)

市内におけるインフルエンザ等の感染症情報を収集・解析し、感染症情報センターとして、感染症の流行状況や予防情報を毎週発信しています。

細菌・ウイルスの検査



腸管出血性大腸菌や麻しんを始めとする感染症の原因となる細菌・ウイルスの検査（培養、顕微鏡による鏡検、遺伝子検査等）を行っています。

また、細菌やウイルスの種類や性状を詳しく調べたり、遺伝子配列を読み取り、遺伝子の違いを調べる調査研究に取り組んでいます。

生活科学課

日常生活の安全にかかわる検査を行っています！

食品中の細菌や化学物質の検査



市内で製造や流通している食品中の細菌や、化学物質（食品添加物、残留農薬、残留動物用医薬品など）を検査することで、毎日の生活に欠かせない食の安全を確保しています。

加えて、食中毒疑い事案が発生した際の患者や食品従事者の検便、施設のふき取り検査などを迅速に行い、健康被害の拡大防止に貢献しています。

浴槽水の検査



肺炎を引き起こすレジオネラ属菌は、浴槽水や、プール、河川といった身近な環境に生息しています。市民の皆さまが公衆浴場等を安心して利用できるように検査を行っています。

また、レジオネラ属菌の検査は1～2週間と時間がかかるため、数時間で結果が判明する迅速検査法の調査研究に取り組んでいます。

環境科学課

環境にかかわる調査や検査を行っています！

大気調査



大気の状態を監視するために、毎月空気中に含まれる有害物質の量を測定しています。

また、工場や鉄道の騒音調査を実施し、市内の生活環境を科学的に見守っています。

その他、ヒートアイランドの状況把握のため、平成20年から市内の気温を継続的に測定し続けたり、微小粒子状物質の成分に関する調査研究に取り組んでいます。

水質調査



河川・地下水・工場排水等について、汚れの度合いや有害物質（金属類、揮発性有機化合物、農薬など）が含まれていないかを確認しています。

さらに、水質に異常が発生した際には、その影響を最小限に留めるため、速やかに水質の分析を行い、水環境の保全に取り組んでいます。

編集・発行

さいたま市健康科学研究センター
さいたま市中央区鈴谷7-5-12

TEL : 048-840-2250
FAX : 048-840-2267



科学情報発信サイト
「サイエンスなび」も
ご覧ください。